

埼臨技だより

発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会

〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7 TEL 048(824)4077 FAX 048(824)4095

URL:<http://www.sairingi.com/> 携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

会長就任のご挨拶



公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会
会長 津田 聡一郎

会員・賛助会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より当会活動に格別のご支援ご配慮を賜わり誠にありがとうございます。

去る6月6日開催の平成26年度定時会員総会におきまして、平成26、27年度の理事20名が選出され、続く平成26年度第三回理事会にて代表理事(会長)を仰せつかりましたことをご報告いたします。誠に微力ではございますが、会の安定と発展のため役員一同、全力を尽くして務めてまいります。どうかよろしく願いいたします。

会員・賛助会員の皆様におかれましては、すでにご存じの通り、当会は本年1月6日をもって旧法の社団法人より、新法の公益社団法人として生まれ変わりました。明治の頃より百年来続いてきた民法の規定から、新しく作られた公益法人認定法に則り、県、国から認められた組織となった、ということです。

平成21年4月の埼臨技だよりに会長就任挨拶の中で砂川・前会長は「大きな課題」として「新公益社団法人格の取得」を掲げており、見事にその目的を達成されました。改めまして敬意を表し感謝申し上げます。

この移行は年度の途中で実施ということになりましたので、キリの良い本年3月末までの約三ヶ月で一旦事業年度を閉じ、4月より新年度、そして新体制での事業に臨んだものであります。つまり、一年を通しての事業展開は今回が初めて、という状況を進んでおります。従いまして、新しい法・ルールの下での執行であるが故に、従来のやり方では通用しないと県、国・法務局から指摘を受けるなど、今も四苦八苦の状態です。

私達新体制は、これを「安定させて・落ち着かさせて」というのを第一に「安定・沉着」というのをモットーに励みたいと思っております。会員・賛助会員の皆様にとって従来通りの『埼臨技』の使い勝手の良さをそのままに、益々の発展に結びつけられる様、努力してまいりたいと思っております。

今後、皆様方のご指導ご鞭撻を心からお願い申し上げ、就任のご挨拶といたします。

平成26年6月

平成26年度公益社団法人埼玉県臨床検査技師会 定時会員総会が開催される

平成26年度公益社団法人埼玉県臨床検査技師会定時会員総会が平成26年6月6日(金)に大宮ソニックシティ906号にて開催された。本総会の議案審議内容は、公益法人になった1月から3月までの事業報告及び収支決算報告、第44回埼玉県医学検査学会学会長選出、平成26・27年度理事選任であった。

総会は矢作強志事務局次長の進行により始まり、砂川進会長から「この1年公益法人化に向け例年より多く総会が開催され、その度に多く出席者、また多くの委任状が提出されたことにより総会が滞りなく遂行できたこと、これは埼臨技会員の団結力の表れである。」と、感謝の意がこもった挨拶があった。つづいて小崎繁昭名誉会員の紹介があった。その後、坂場幸治氏(元防衛医科大学校病院)に埼臨技功労者表彰、永年会員表彰が43名の会員に、江端晃子氏(株式会社アムル 上尾中央臨床検査研究所)に優秀論文賞表彰が行われた。受賞された方々には謹んでお祝いを申し上げる。



総会の開催に先立ち、手塚康晴氏(さいたま市立病院)が議長に選出され、手塚議長の進行のもと総会役員が指名された。資格審査委員長に奈良豊総務副部長、資格審査委員には東部地区から小林竜一氏(白岡中央総合病院)、南部地区は大地康文氏(さいたま市立病院)、西部地区は巖崎達矢氏(東松山医師会病院)、北部地区は稲山拓司氏(深谷赤十字病院)が任命された。また、書記に鈴木由美子氏(浦和医師会メディカルセンター)、軍司雅代氏(済生会川口総合病院)、議事録署名人に小松正人氏(さいたま赤十字病院)、濱田昇一氏(メディ

カルトピア草加病院)が任命された。手塚議長より「18時30分現在の出席者数108名、委任状出席者数1,671名、議決権行使書数56名、合計1,835名は、第1から4号議案を審議するための必要者数である全会員数2342名の過半数を越えており定款第18条の規定により本総会が成立しています。」と宣言され、総会が始まった。

議事審議は、奈良資格審査委員長より議事日程が提案され、それに沿い手塚議長の進行により行われた。第一号議案、公益社団法人埼玉県臨床検査技師会平成25年度事業について砂川会長、津田聡一郎副会長、神山清志副会長から、第二号議案、収支決算について島村益広会計部長から、また監査報告が遠藤敏彦監事より行われた。今回の総会は1月から3月での公益法人移行後3ヶ月間の決算総会のためか、第一号議案、第二号議案は、質疑もなく満場一致で可決された。第三号議案では第44回埼玉県医学検査学会学会長に岩田敏弘氏(埼玉県立がんセンター)が執行部より推薦され、こちらも満場一致で可決され、岩田氏が第44回学会長に任命された。つづいて、第四号議案「平成26・27年度理事選任」が柴崎役員推薦委員長(獨協医科大学越谷病院)より



あった。神嶋敏子氏（埼玉県立小児医療センター）、鳥山満氏（獨協医科大学越谷病院）、武関雄二氏（自治医科大学附属さいたま医療センター）、3名の新任理事が加わった20名の理事が承認され、すべての議案が可決された。

総会終了後、臨時理事会が行われ、津田聡一郎氏（株式会社アムル上尾中央臨床検査研究所）が代表理事（埼臨技会長）に就任が決まった。その間、第43回埼玉県医学検査学会からのお知らせが袴田博文学会長（上尾中央医科グループ協議会）から、また平成26・27年度の研究班員紹介が行われた。

今回の総会をもって理事を勇退された砂川進会長、前原光江事務局長と退任する小関紀之学術部長、茂木孝一理事の4人の理事から挨拶があり、「埼臨技理事として、人との繋がり、素晴らしい経験をさせていただいた。」との言葉をいただいた。また、本総会には出席されなかったが、高嶋浩一事業部長も退任された。研究班活動、県学会運営、各種委員会、理事活動など、技師会活動は正に人と人が繋がる場である。私もこのような挨拶が出来るよう、微力ながら頑張っていきたい。

今回の総会が円滑に進んだのも、手塚議長による円滑な進行と、出席してくださった会員の皆様、また冒頭の挨拶にもあった、多くの会員の皆様からの委任状御協力など、埼臨技会員の団結力によるものと御礼申し上げます。

（文責：猪浦一人）

◆ 平成26・27年度 新任理事の自己紹介



自治医科大学附属さいたま医療センター
武関 雄二

この度、平成26、27年度の理事を拝命いたしました武関と申します。私は学術部を担当させていただくことになりましたので、初仕事は研究班の皆様と親睦を深めて各研究班の活動について意見交換ができればと考えています。

また、今年度は埼玉県医学検査学会の実行委員としても積極的に活動して参りますが、すべてが中途半端にならないように計画を立てて進めたいと思っています。

これからは理事として会員の皆様のお役にたてるように、諸先輩理事の方々にご指導を賜りながら精一杯頑張らせて頂きますので、よろしくお願い申し上げます。



獨協医科大学越谷病院
鳥山 満

この度、埼玉県臨床検査技師会理事を拝命いたしました鳥山満と申します。公益社団法人移行の年に理事就任ということで非常に身の引き締まる思いがあります。これからは当会のさらなる発展のために全力を尽くすとともに皆様のご期待に添うよう努力いたす所存です。なにとぞ、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第43回埼玉県医学検査学会のお知らせ

— 実行委員だより —

【運営部】

「え？ お前がやるの？」と某副会長よりありがたいお言葉を賜りながらも、学会実行委員としては大した仕事も出来ずに早や数カ月。他の委員の方々に迷惑だけはかけないよう努めております。

個人的には昨年度、技師会入会后初めて年度内での生涯教育履修修了という偉業を達成し、今年度にはおそらく人生で最後になるのであろう表彰を技師会より受け（永年会員表彰）、どれもこれも全て何かのご縁＝学会テーマである『つ・な・が・る』に引き寄せられたのかなあ？と実感しております。

そんな技師会との濃い2年間の締めとしての学会実行委員。今学会において、県技師会会員全員と『つ・な・が・る』ことができるよう頑張りたいと思います。

あれっ？ 学会運営部の活動内容・・・？ おそらく次の委員から・・・

(文責：小林竜一)

【学術部】

昨年の10月、第1回実行委員会を開催しまして、早9ヶ月が経過しようとしております。私事ですが、実行委員は初めての事で、右も左もわからないまま、諸先輩方の指導のもと、準備に邁進しております。病院も担当分野も違う検査技師が集まり、会議や交流会のたびに刺激をいただく日々を過ごしております。

今年度の委員は、個性あふれる方が在籍しており、その表れとしまして、第43回埼玉医学検査学会ホームページに個々の写真と自己PRが掲載されております。各実行委員のベストショット掲載がございますので、皆様、一度ホームページへアクセスしてください。ご覧いただいた皆様と『つ・な・が・る』ことを期待しております。

また、個性あふれるホームページには、演題登録方法等のご案内もがございますので、ぜひご一読いただき、どし！どし！演題を登録していただきますようお願い申し上げます。

(文責：鈴木朋子)



各研究班の研修会報告を致します。

テーマ **もう一度確認しよう、院内感染のポイント！ 細菌～ウイルスまで**
主催 公衆衛生検査研究班

実施日時：平成26年5月23日 19時00分～21時00分

会場：大宮ソニックシティ603号室 点数：専門教科－20点

講師：株式会社ビー・エム・エル 霜島 正浩

参加人数：会員63名 賛助会員3名

出席した研究班班員：菊地孝司 富井貴之 穴原賢治 阿保一茂 長崎広美 榊原外江 立塚梓
研修内容・感想など

今回の研修会は、霜島正浩氏をお招きし、院内感染の現状、その発生原因及び対策についてご教授いただいた。本講義は①病院感染の概要②クロストリディウム・ディフィシル③結核菌④インフルエンザ⑤ノロウイルス⑥手洗いの重要性の6項目を中心にお話いただいた。院内感染の発生様式は様々であるが、「どこに菌がいるのか」「どのようにして広がるのか」といった基本的な知識を病院スタッフに伝達し、共有する必要性を認識した。また、「なぜ手袋をするのか」、「なぜマスクをするのか」、上職者、先輩から言われたからしているのではなく、「手袋は手指衛生のため」、「マスクは空気および飛沫感染」のためで、その意味を理解することが重要であると感じた。諸外国の感染対策事例などをお話いただき、お見舞いの際につきものである生花の禁止など、文化そのものに対する認識を新たなものにした。病院内には免疫力の低下した人（易感染者）が多数共存しており、日和見感染を起こすリスクも非常に高い。ほとんどの院内感染は土足のまま診察室や病室に入ることが多い大病院で起きており、病院の中に土足で入るということは、土やホコリを持ち込むことを意味する。土やホコリには、目に見えない細菌が無数に詰まっており、いくら見た目にきれいな掃除をしたからといって、細菌学的に清潔というわけではない。手洗い、医療器具の使い回しなど、改善されつつある部分も多々あるが、院内感染を撲滅するには、日本文化そのものの見直しも必要ではないかと感じた。

(文責：富井貴之)

テーマ **形態学を学ぼう、データの見方・貧血の考え方も含めて
匠の知識を譲り受けるチャンス到来**

主催 血液検査研究班

実施日時：平成26年5月29日 19時00分～21時00分

会場：大宮ソニックシティ601号室 点数：専門教科－20点

講師：秋葉 俊一（シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社 HHS事業部）

参加人数：会員88名 学生3名

出席した研究班班員：星孝夫 網野育雄 根岸永和 羽鳥浩司 田中正 原誠則 岡安幸子
軍司雅代 圓田和人 橋口恵子

研修内容・感想など

塗抹標本作製法では、アルブミン添加によりSmudge細胞の発生を防ぐ方法や、染色の原理、環境に伴う赤血球形態変化等の解説であった。これらは日常遭遇しがちであるが、あまり考えずに流れてしまいがちなところであり、今回の講演で理解が深まった。

血球自動分析機が破碎赤血球をどのように捕らえているか、測定原理をわかりやすく解説いただき、若干の違いはあるものの、自施設の機器を再確認する事は、データの精度向上のため

には是非必要な知識と思われた。

また、各血球の見方で、封入体については、なぜ出現するのかなど患者の病態や治療に関連付けての解説があり、血液像を見始めた新人には理解が深まったことと思う。

用意していただいた資料の中で、症例については時間切れとなってしまったが、最後にネットコースについての質問に対しての解説を聞くことができたことは、話題のキーワードであるだけに大変興味深かった。

(文責：橋口恵子)

テーマ 敗血症における血清検査について学びましょう。

主催 血清検査研究班・微生物研究班合同研修

実施日時：平成26年 5月30日 19時00分～20時30分

会 場：大宮ソニックシティ604号室 点数：専門教科ー20点

講 師：金子 守氏（株式会社 L S I メディエンス）

山田洋一氏（ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社）

参加人数：会員47名 賛助会員12名

出席した研究班班員

血 清：齊藤雅一 庄司和春 佐野悦子 大島まりこ 持田和紀 鈴木淳子

微生物：永野栄子 荻野毅史 小西光政 砂押克彦 佐藤里香 牧俊一

研修内容・感想など

今回は敗血症マーカーとして最近話題であるプレセプシンとプロカルシトニンについての臨床的話題やそれぞれの特徴を講演していただいた。

プレセプシンは、敗血症に特異的に上昇する新しいマーカーであり、外傷や熱傷などで影響を受けにくく、病態の進行に伴い上昇するなど、敗血症発症後、早期に上昇するなどのデータを示された。また、測定には全血を用い短時間で測定できることから、救急医療に役立つとも説明された。

プロカルシトニンは、プレセプシンと比較すると敗血症でなくても炎症の影響を受けることがあるが、抗菌薬の治療効果指標となること、透析患者さんで偽陽性となることはないなどのデータを示され、プロカルシトニン測定の強みを説明していただいた。

今回の研修会で、2つのマーカーのそれぞれの特徴を理解することができた。また、敗血症診断には複数のマーカーと症状などで診断していくことの大切さを実感できた。今後の臨床的検討を期待したい。

(文責：鈴木淳子)

テーマ 温故知新「確認培地から菌名を決定しよう！」

主催 微生物検査研究班

実施日時：平成26年 6月 7日 13時00分～16時30分

会 場：株式会社ビー・エム・エル総合研究所 点数：専門教科ー20点

講 師：古畑 健司（株式会社 ビー・エム・エル総合研究所）

参加人数：会員27名

出席した研究班班員：永野栄子 古畑健司 渡辺典之 金田光稔 砂押克彦 荻野毅史

小西光政 佐藤香里 牧俊一 酒井利育

研修内容・感想など

今回は「確認培地から菌名を同定しよう！」というテーマで、TSI・SIM・LIM・シモンズク

エン酸・VP培地などの確認培地から菌種名を同定する実習形式の研修会であった。これから夏期になると増えてくる食中毒の起因菌となるサルモネラやビブリオなどを中心に、4つの班に分かれて20菌種の同定を各自で行い、最後に古畑技師に菌種ごとの同定の鑑別ポイントについて解説していただいた。参加した方々はシャーレの臭い、コロニーの色や形、確認培地の生化学的性状を見ながら真剣に菌種の同定を行っていた。私自身、普段の菌種同定を自動機器やキットに頼ってしまっていることが多く、いざ確認培地から同定しようとする生化学的性状や鑑別点などの知識が曖昧になってしまっていることに気づいた。食中毒菌を見落とさないためには、病原性のある菌について理解しておくだけでなく、非病原性の腸内細菌などのコロニーや確認培地での生化学的性状など日頃から見慣れておくことで「いつもの菌と何か違う」という感覚を身に付ける必要があると感じた。今回のテーマ「故きを温ねて新しきを知る」に沿った研修会であったと思う。

(文責：佐藤香里)

テーマ 生理検査研究班CD-ROMサーベイ2013報告会

主催 生理検査研究班

実施日時：平成26年 6月 7日 14時30分～17時40分

会 場：上尾中央総合病院 D館 4F 食堂 点数：専門教科ー20点

講 師：生理検査研究班員

参加人数：会員25名

出席した研究班班員：野本隆之 仲野浩 瀧沢教之 家城正和 高梨淳子 早川勇樹
関口知詠子 田名見里恵 丸山陽介 横尾愛

研修内容・感想など

昨年度の画像サーベイは一部において、当研究班の各領域の担当者が予想したよりも大幅に正解率が低い設問があった。しかし、日常では判断に迷う症例に遭遇することも少なくないため、意見の分かれる症例をサーベイで解くことは、勉強、再確認する良い機会となったのではないと思われる。

また、新たな試みとして、肺活量予測値の差を調査したが、日本呼吸器学会の予測式を使用していない施設がいくつか見られた。Boldwinの予測式は高齢者に対応したものではなく、また、判定結果に施設間差があってはならない。その是正のための現状把握ができたことから、この調査は有用であった。次年度も、このような新たな取り組みを他領域でも行えるよう、この結果を生かしていきたい。

今回の報告会を実施するに当たり、前日からの大雨の影響もあり、前回よりも参加人数は減少してしまった。来場できなかった方はぜひとも解説版を参照していただきたい。

(文責：丸山陽介)



お知らせ

埼臨技事務所の夏季休暇について

平成26年8月11日(月)～15日(金)まで事務所は
お休みとなります。

埼臨技ひろば

平成25年度 春の埼臨技有志ゴルフコンペ

平成26年度春の埼臨技有志ゴルフコンペが5月25日(日)快晴の中、大麻生ゴルフ場で開催されました。私は前日から過度な期待で興奮状態のまま、10番ホールよりスタート。頭の中ではタイガー・ウッズにも負けません。しかしプレー中はイメージ通りに打てなくて悔しい思い。プレー後には「安全に行っとけば」とか「勝負しとけば」とか反省しきり。でも結果は驚きの優勝！まさに参加された皆様の楽しくも真剣な雰囲気とハンデのお陰です。ありがとうございます。今度は皆さんも一緒にプレーしましょう。始めたばかりの方でも心配いりません。なにしろ私、20年もあとから始めた人に、負けたりしてますから。



- 優勝：野瀬和彦（深谷赤十字病院）
準優勝：遠藤俊彦（川口市立医療センター）
三位：伊藤隆史（西武入間病院）



平成26年度
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会
第4回 理事会議事録

日 時：平成26年 6月12日(木) 19時00分より

場 所：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家 7-14-7

議 題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項

Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出 席：(理事)津田 神山 島村 岡田 矢作

小山 奈良 猪浦 長岡 伊藤

松岡 小島 濱本 藤井 長澤

山口 鳥山 武関 野瀬 神嶋

(監事)遠藤 細谷

本日の理事会の出席者は22名であった。理事の出席者は20名で、現在数20名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、津田聡一郎会長が務めることとなった。

Ⅰ. 行動報告(平成26年5月8日～平成26年6月11日)

5月8日(木)平成26年度公益社団法人第2回理

事会：砂川、津田、神山、前原、
矢作、岡田、奈良、猪浦、長岡、
伊藤、島村、松岡、小島、濱本、
藤井、長澤、小関、茂木、小山、
山口、野瀬、遠藤、細谷

5月11日(日)日臨技臨床検査データ標準化事業
全国代表者会議：神山、山口

5月20日(火)第43回埼玉県医学検査学会第8回
実行委員会：岡田、小島、長岡

5月24日(土)日臨技平成26年度定時総会：
砂川、津田、神山、岡田

5月27日(火)法務局へ登記変更相談：前原

5月27日(火)理事・研究班学術合同会議：
砂川、津田、神山、前原、矢作、
岡田、奈良、島村、松岡、小島、
藤井、長澤、小関、茂木、小山、
山口

5月28日(水)検査室管理運営委員会：
津田、濱本、藤井

6月2日(月)総務部会：

岡田、奈良、猪浦、長岡、伊藤

6月6日(金)平成26年度定時総会：

砂川、津田、神山、前原、矢作、
岡田、奈良、猪浦、長岡、伊藤、
島村、松岡、小島、濱本、藤井、
長澤、小関、茂木、小山、山口、
野瀬、遠藤、細谷

6月6日(金)平成26年度公益社団法人第3回理

事会：津田、神山、矢作、岡田、
奈良、猪浦、長岡、伊藤、島村、
松岡、小島、濱本、藤井、長澤、
小山、山口、野瀬、神嶋、鳥山、
武関、遠藤、細谷

6月8日(日)事務所改装検討委員会：

津田、神山、岡田、島村、矢作、
伊藤、松岡、小島、藤井、長澤

Ⅱ. 報告事項

1 事務局

- 1) 岡田茂治氏の日臨技理事就任及び津田聡一郎氏の日臨技理事退任について
- 2) 事務所改装における業者との打ち合わせ結果について

2 総務部

- 1) 6月2日、総務部会議を開催した。
- 2) 「埼臨技だより」第421号、6月15日発行予定

3 事業部

- 1) 「検査と健康展」について、メール会議を開催した。
- 2) 5月28日、検査室管理運営委員会を開催した。
- 3) 6月26日、深谷福祉健康まつり第1回実行委員会出席予定。
出席者：津田会長、濱本事業部長

4 学術部

- 1) 5月27日、理事・研究班学術合同会議を開催した。
- 2) 8月9日生涯教育プログラム、6月15日発行予定
- 3) 6月7日生涯教育プログラム修正版発行について
- 4) 第20回関甲信支部・首都圏支部合同血液検査研修会案内について
- 5) 第8回1都2県臨床化学検査研究班合同研

修会案内について

- 6) 病理認定技師制度における当県の対応について

5 精度保証部

特になし

6 会 計 部

- 1) 平成26年度会費61名305,000円、入会金37名37,000円、合計342,000円の入金があった。
2) 日臨技定時総会議決権行使書回収委託費73,800円(1,476名×50円)の入金があった。
3) だより第420号、会誌Vol.60 NO.4、総会議案書等印刷代として686,502円を石井印刷に支払った。

7 精度管理委員会

特になし

8 一都八県会長会議

- 1) 7月12日、水戸京成ホテルにて開催予定。
出席者：津田会長、砂川前会長
2) 人材育成研修会について

9 日臨技関甲信支部

- 1) 7月12日、水戸京成ホテルにて開催予定。
出席者：津田会長、神山副会長、岡田副会長、砂川前会長
2) 公益社団法人茨城県臨床県技師会新法人移行式典について
日 時：平成26年7月12日(土)
14：00から
会 場：水戸京成ホテル
出席者：津田会長、神山副会長、島村副会長、岡田副会長、砂川前会長

10 第43回埼玉県医学検査学会

- 1) 5月20日、第8回実行委員会を開催した。

Ⅲ. 承認事項

1 事務局

- 1) 会員動向(会費納入済)(平成26年度分)
会員数 2,364名
(新入会員 95名[平成25年度会員数2,306名])
賛助会員 26社[平成25年度 72社]
平成26年6月5日現在
2) 第16回埼玉脂質代謝研究会への名義後援について
日 時：平成26年6月18日(水)19時から
会 場：大宮ソニックシティ906号室

2 総務部

- 1) ロゴマーク商標登録について

3 事業部

特になし

4 学術部

特になし

5 精度保証部

特になし

6 会計部

特になし

Ⅳ. 議題

- 1 平成26・27年度理事役務について

- (1) 副会長の選任
(2) 常務理事の選任
(3) 理事の役務分担
(4) 各種委員会・委員の選任

上記について、津田会長より発言があった。これを受け理事会審議の結果、出席理事全会一致で承認した。また副会長の順位について、第1に神山副会長、第2に島村副会長、第3に岡田副会長とした。

- 2 60周年記念誌発行について

猪浦理事より標記の議案について発言があった。これを受け理事会審議の結果、発行形式はデジタル発行とし、期限は平成27年賀詞交歓会までとすることを出席理事全会一致で承認した。また編集委員を募ることも決定した。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

求人案内

- 医療法人 道心会 埼玉東部循環器病院
採用条件：正職員
連絡先：048-960-7102 事務局 人事 田中
- 医療法人 啓仁会 平成の森・川島病院
採用条件：育休代員
連絡先：総務課 安田
- 埼玉県済生会栗橋病院
採用条件：正職員
連絡先：0480-52-3611 内線68320 並木 薫
- 医療法人 永仁会 入間ハート病院 健康管理センター
採用条件：正職員
連絡先：04-2934-5097 内線2403
本部事務 大熊篤史
- 埼玉県衛生研究所
採用条件：臨時職員
連絡先：0493-59-9369
ウイルス担当 篠原美千代
- 川口市立医療センター
採用条件：臨時職員
連絡先：048-287-2525 庶務課 漆山
- 医療法人 一成会 さいたま記念病院
採用条件：午前中のみパートタイム
連絡先：048-686-3111 内線631
検査科 加賀谷
- 株式会社ピーシーエルジャパン 病理・細胞診センター
採用条件：臨時職員
連絡先：049-234-7310
総務部 採用担当 古田島
- 医療法人社団 和風会 所沢中央病院
採用条件：正職員
連絡先：04-2994-1265 事務長 服部 貢

給与、社会保険等、詳細につきましては掲載してある連絡先にてご確認をお願いいたします。

あ と が き

サッカー・ワールドカップがブラジルで華やかに開催されています。この会誌が皆様のお手元に届くころには優勝国が決まっていることでしょう。

ワールドカップの主役はすばらしい感動を与えてくれる選手ですが、その後ろには審判や役員など多くのことを支えてくれる人がいます。選手にはもちろん、選手を支えている人たちにも感謝することを忘れてはいけません。私達も日常において感謝の気持ちを持ち続けていたいものです。

さて、埼臨技役員も新任の理事を迎え、津田新会長の指導の下、新たな気持ちでキックオフいたします。

会員の皆様、どうぞよろしくをお願いいたします。

(奈良 記)

